

水産

事例1

茨城県

【平成 20～22 年度指定】

参加高校：茨城県立海洋高等学校

実施機関：茨城県教育委員会

茨城県会瀬漁業協同組合

水産業への理解が深まる

学校設定科目「水産業実技演習」



■ 目 標

漁業・水産就業者の高齢化と減少が進行しており、今後の漁業・水産生産を維持・発展させるためには、次世代の生産を担う人材の育成が急務である。このため、茨城県立海洋高等学校と地域産業界が連携して、地域漁業・水産業の担い手の育成を図り、地域水産業の活性化と発展を促進させる。

■ 特 徴

- 2年生が1人8～10日間、漁業協同組合で漁業実習（定置網漁業、刺網漁業、市場作業、網の修繕）を実施
- 学校設定科目「水産業概論」で、漁業者・水産業者等からの直接、各種漁業の漁具・漁法、作業工程、資源管理、栽培漁業などの講話や技術指導を実施
- 海洋高校からの漁協・漁業会社等への優先的雇用システム（キャリア・パス）の研究・検討、地域漁協や水産加工会社等のニーズ調査実施

■ 内 容

【学校設定科目「水産業実技演習」（2単位）の実施】

【漁業実習】定置網漁業、刺網漁業、旋網漁業、網の修繕作業、市場作業、定置網船及び沿岸小型船、まき網船などでの漁法や漁具・漁業機械の扱い方に関する実習

【水産会社】水産加工会社における魚介類製造・加工、水産販売会社における鮮魚、加工品等の販売

■ 成 果

将来水産関係の仕事に就きたいか	「つきたい」「どちらかというつきたい」という生徒 34%（事前）→50%（事後）
漁業に対するイメージはどうか	「よい」「どちらかというよい」という生徒 34%（事前）→89%（事後）

声

【地域産業への理解を深める】

●生徒の仕事に対する意識が変化し、特に地域の水産業についての理解が深まった。実習を通じて、「作業実践力」や「努力する力」が向上した。（学校）

【働くことの現実を知る】

●現場実習を行うことは働くことの現実を知り、自分が就職先を決定する上で重要な役割となっている。（学校）

問合わせ

茨城県教育委員会高校教育課 〒310-8588 茨城県水戸市笠原町 978 番 6

TEL 029-301-5260 FAX 029-301-5269

URL <http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/index.htm>

茨城県農林水産部魚政課 〒310-8555 茨城県水戸市笠原町 978 番 6

TEL 029-301-4070 FAX 029-301-4089

URL <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/gyosei/gyoseika.htm>

茨城県会瀬漁業協同組合 〒317-0076 茨城県日立市会瀬町 1 丁目 1-8

TEL 0294-21-1449

水産 事例2 静岡県

【平成 21～22 年度指定】

参加高校：静岡県立焼津水産高等学校

実施機関：静岡県教育委員会

財団法人静岡経済研究所

重厚な地域産業界のバックアップ 県内 100 箇所以上の事業所の協力



■ 目 標

本事業を通じて、地域産業界、行政、教育界との連携を強化し、漁業、加工、流通における専門的な知識・技術を有する中核的漁業者の育成を図るとともに、社会のニーズや変化を適切に踏まえ、水産業界が抱える様々な現代的諸課題に協働して解決にあたるリーダー的存在としての職業人を産業界とともに養成する。

■ 特 徴

- 学識経験者、企業経営者、漁業関係者、水産行政関係者、教育関係者 10 人からなる静岡県水産業人材育成推進委員会を設置
- 財団法人静岡経済研究所が保有する経済産業に関する情報やネットワーク等をコーディネーターや委員会の運営に提供
- 1 年生全員で漁業体験実習、企業等訪問実習、2 年生全員で漁業・水産業関連事業所でのインターンシップ、3 年生はデュアルシステム、共同研究を実施

■ 内 容

【財団法人静岡経済研究所のバックアップ】

地域のシンクタンクとして、これまでに蓄積された静岡県経済や産業に係る研究・調査やネットワーク等を生かし、社会調査事業をはじめとした各種事業の推進に貢献
産業側の窓口として、焼津水産高校と協働して事業を推進

【コーディネーターの存在】

事業全体の統括・事務管理、各事業における企業側や行政側との調整、漁業者育成制度や人材育成ニーズ等の把握及び研究、産業界のニーズの事業への反映及び産業界からの意見・要望等を調整・把握等を実施

■ 成 果

協力事業所数の増加	91社（H21）→ 108社 （H22）
デュアルシステムに対する満足度	「非常に満足」、「満足」という生徒 87%

声

【県内100以上の事業所の協力を得る】

●本事業の推進にあたり、県内100箇所以上の事業所の協力を得るとともに、水産業界の後継者育成に向けた仕組みづくりに多くの助言をいただくことができた。生徒にとっては、漁業や水産業界に直接触れ、現状を知る機会となるとともに、働く仕組みを理解し、水産業界への就業意識を高める機会となった。（学校）

問い合わせ

静岡県教育委員会学校教育課 〒420-8601 静岡市葵区追手町 9-6

TEL 054-221-3140 FAX 054-221-3558

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-050/index.html>

財団法人静岡経済研究所 〒420-0853 静岡市葵区追手町 1-13 アゴラ静岡 5階

TEL 054-250-8750 FAX 054-250-8770

URL <http://www.seri.or.jp/>